

今がここの世の境界線

マハーバーラタとは

「マハーバーラタ」は古代インドの聖典でその長さは聖書の4倍とされています。その影響は広く、インドをはじめ、ジャワ、マレー、タイ、バリ島を中心としたアジア各地の宗教・思想・文化・哲学・倫理・政治・法律などあらゆる方面の根本経典として尊崇されています。現代に通じる哲学とバカバカしい人間模様が次々と出て来る、「大エンターテインメントでもあるのが「マハーバーラタ」。愚かで悲しく、嬉々として神々と人間が入り乱れつつ時空を飛び越えて展開する壮大な物語。

【あらすじ】この物語は、「バラタ族」という「偉大な(マハー)大家族の中で、「クルの血を引く者」と「パンドウの血を引く者」とが富や権力を求め対立を深めていくお話です。その溝は徐々に深まり、欲望・嫉妬・怒り・怨み・悲しみなどからやがて大戦争を引き起こしていきます。本作は2つの家族の対立が起る「衝突場面」から始まり、やがて起る大戦の前後までを描きます。



◆演出・脚本・振付・構成：小池博史

◆出演・振付：
小谷野哲郎(バリ舞踊)
張春祥(京劇)
川満香多(琉球舞踊)
谷口界(アクトバット)
土屋悠太郎(タイ古典舞踊)
吉澤慎吾(パフォーマー)
YASUCHIKA
福島梓
ムーンムーン・シン(インド古典舞踊)

◆演奏：
下町兄弟(ジャンベ・パーカッション)
大城貴幸(琉球音楽)

原作：マハーバーラタ
演出・脚本・振付・構成：小池博史
作曲：チャンドラン・ベヤツマル(インド)
藤井健介、下町兄弟、大城貴幸
舞台美術：ファロス・カーン(インド)
仮面：イ・ワヤン・タンゲー(インドネシア)
イ・マデ・スティアルカ(インドネシア)
衣装：マンガキニ・ゴスワミ(インド)
舞台美術助手：ソーラブ・ポッター(インド)

衣装アシスタント：岡田三千代
舞台監督：吉田誠 中原和樹
照明：富山貴之
音響：印南昭太郎
演出助手：根本和歌菜
音楽プラン：小池博史
宣伝美術：梅村昇史
制作協力：株式会社サイ

Super Theater 小池博史ブリッジプロジェクト

五感すべてで感じるシアター。世界各国で作品制作を行い、舞台芸術の第一線で30年以上活動を続けてきた小池博史によって命名された。バレエ・演劇・モダンダンス・サーカス・伝統舞踊等あらゆるバックグラウンドを持つパフォーマーや音楽家がフィールドを超えて舞台の上で調和することで、既存の舞台芸術の枠を飛び越えた作品作りを行う。

小池博史 profile

演出家・作家・振付家・舞台芸術の学校代表
茨城県日立市生まれ。一橋大学卒業。1982年パフォーミンググループ「ババ・タラマラ」設立。以降、全55作品の作・演出・振付を手掛ける。2012年5月解散。その後「小池博史ブリッジプロジェクト」を立ち上げ、世界各地で12作品を制作。演劇・舞踊・美術・音楽等のジャンルを超えた作品群を40ヶ国で上演。97～04年つくば舞台芸術監督、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、国際交流基金特定寄附金審議委員等さまざまな審議員、審査員等を歴任。
著書として「ロンググッドバイ〜ババ・タラマラとその時代」(2011年、青幻舎刊)、「からのこえをさく」(2013年、新潮社刊)、「新・舞台芸術論—21世紀風姿花伝」(2017年12月、水声社刊)。毎月1回、メルマガジンを発行中。



小池博史の本

- 「新・舞台芸術論—21世紀風姿花伝」(水声社刊) 定価2,500円(税別)
- 「小池博史著作集(タイトル未定)」(水声社刊) 6月発売予定 定価未定

TIME
2018年
6月23日(土) 18:00 開演
24日(日) 14:00 開演
開場は開演の30分前です。
※終演後アフタートーク予定

PLACE
金沢市民芸術村
パフォーミングスクエア
石川県金沢市大和町1-1
http://www.artvillage.gr.jp/

上演予定時間は約90分です(休憩なし)。未就学児入場可。
※4歳以下観覧無料(お席を使用する場合は有料)

料金(全席自由)
一般：3,000円 / 高校生以下：2,000円 (当日：各500円増)

チケット取り扱い
●チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:485-721)
●ローチケHMV 0570-084-005(Lコード:51862)
●石川県立音楽堂チケットボックス 076-232-8632
●金沢市民芸術村 076-265-8300

お問い合わせ：金沢芸術創造財団
076-223-9898 www.kanazawa-arts.or.jp



主催：公益財団法人 金沢芸術創造財団
後援：北国新聞社 北陸放送 エフエム石川
連携：流山市おおたかの森センター指定管理者 アクティオ株式会社連合会
公益財団法人多摩市文化振興財団
茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
公益財団法人仙台市市民文化事業団
助成：一般財団法人地域創造

●私たちは金沢芸術創造財団の芸術活動を応援しています。(五十音順)
金沢市分譲住宅建設協力会
(一般社団法人)石川県木造住宅協会
株式会社橋本清文堂 株式会社ホルテ金沢
JA金沢市 ホクモウ株式会社
ヨシダ宣伝株式会社

この公演は千葉県流山市、東京都多摩市、石川県金沢市、長野県茅野市、宮城県仙台市の文化・公共施設5館による連携事業です。5館が一丸となり3ヵ月に渡る国内ツアーを制作していきます。また、本公演に先立ち各地の市民を対象としたワークショップを開催いたします。

流山市文化会館
小林一茶の旅路を支え、菱田春華若き才能の育成に尽力した流山は、みりんなど、醸造家を中心になって文化を応援する気風があったと言われています。流山市文化会館では、築50年の古い建物ですが、10年前から小池博史さんの公演を続け、高校演劇部によるパリアフリー公演や子育てコンサートなど文化と福祉の融合企画も盛んです。また、流山市生涯学習センターやおおたかの森センターでも、小池博史さんのワークショップや企画展などを続け10年目を迎えます。
https://gensai2018-nagareyama.jimdofree.com/



バルテノン多摩
1987年に開館したバルテノン多摩は、80段の大階段、8本柱のパーゴラなど特徴的な外観を誇る複合文化施設です。多目的に利用できる大・小ホールをはじめ、展示室、会議室、練習室など幅広い文化活動を可能とする施設を備えています。文化活動の振興や郷土の文化・自然環境に関する史料の収集や保存・公開、市民が参加体験する文化芸術事業の推進などに取り組んでいくとともに、地域の結びつきを強め、次世代へと継承していくことを目指しています。
http://www.parthenon.or.jp/



金沢市民芸術村
約10ヘクタールに及ぶ緑あふれる広大な敷地には、かつて紡績工場がありました。金沢市民芸術村は、吹き抜けの高い天井や赤レンガの壁面など旧大和紡績倉庫群の魅力を活かして改修し、市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行える施設として、平成8年(1996年)に誕生しました。以来、年間およそ20万人が利用する、地域の文化発信・交流拠点となっています。
http://www.kanazawa-arts.or.jp/



茅野市民館
諏訪湖を囲む盆地に位置する八ヶ岳山麓の高原都市、長野県茅野市にある茅野市民館、茅野市美術館を併設し、劇場・音楽ホール、市民ギャラリー、図書室などを有する文化複合施設です。「市民一人ひとりが主人公になれる場」の理念のもと、建設計画から市民が直接参加してつくり、地域の交流拠点として2005年に誕生しました。JR茅野駅に直結し、国宝土偶「縄文のピナス」[仮面の女神]といった縄文遺物や遺跡、歴史ある諏訪大社を訪れる玄関口にあたります。
http://www.chinoshiminkan.jp/



日立システムズホール仙台
時代を代表する文化人・伊達政宗公がその発展の礎を築き、市の木ケヤキをはじめ、緑溢れる都の都・仙台。日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)は、繊細で豊かな響きを堪能できるコンサートホール、ステージとの一体感が得られるシアターホール、誰もが自由に利用できるパフォーミングスクエアなど、多様なニーズに対応した仙台市の文化拠点施設です。地下鉄南東北線旭ヶ丘駅に隣接し、眼下には台原森林公園が広がります。
http://www.bunka.city.sendai.jp/



TOUR
千葉/流山 流山市文化会館：6/9(土)
東京/多摩 バルテノン多摩：6/16(土)
石川/金沢 金沢市民芸術村(金沢芸術創造財団)：6/23(土)～24(日)
長野/茅野 茅野市民館：9/9(日)
宮城/仙台 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)：9/16(日)

WORKSHOP
公演に先立ち、関連ワークショップ「からだと音楽で作品をつくらう!」を開催します。
千葉/流山 流山市おおたかの森センター：5/11(金)～13(日)
東京/多摩 バルテノン多摩：5/18(金)～20(日)
石川/金沢 金沢市民芸術村(金沢芸術創造財団)：5/15(火)～17(木)
長野/茅野 茅野市民館：6/27(水)～30(土)
宮城/仙台 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)：7/13(金)～15(日)

複数館ご観劇特典!
2館以上ご観劇をいただいた方へ、粗品をプレゼントいたします。
各劇場の受付にて、別の劇場のチケット含む2枚以上の半券をお見せください。